

《新潟市教育ビジョン 第4期実施計画》(R2~R6)

これからの社会をたくましく生き抜く力の育成

～学・社・民の融合による人づくり, 地域づくり, 学校づくり～

**視点
1**

これからの社会で自信をもって自己実現していける子どもを育てます。

GIGAスクール構想の推進

- (これまでの取り組み)
- ・児童生徒1人1台 & 指導者用の端末整備
- ・大型ディスプレイ等整備
- ・貸出用モバイルルーター購入
- ・GIGAスクールサポーター, ICT支援員の配置など

**視点
4**

誰もが安心して学べる環境づくりを進めます。

(R3.12月補正)

- ・GIGAスクール運営支援センター整備 30,000千円
- ・通信環境の改善 7,227千円

(R4当初)

- ・GIGAスクール運営支援センター運営費 <査定中>
- ・ICT支援員の配置 <査定中> など

(今後課題)

- ・デジタル教科書導入に向けた研究
- ・ひまわりクラブ等との連携

特別支援教育の一層の充実

- ◆特別支援教育課の創設
 - ・政策企画立案能力の強化
 - ・関係部門との連携強化による一体的な福祉体制の強化

子ども一人一人のニーズと課題に対応するため、特別支援教育の充実に努める

**視点
2**

学びの循環による人づくり, 地域づくりを進めます。

- ・社会教育のあり方検討
 - > 持続可能な施設運営の検討 (R4当初) 図書館窓口業務の一部を委託化
 - > これからの社会教育の役割を検討 (R4 家庭教育振興事業の見直し)

**視点
3**

地域と一体となった学校づくりを進めます。

- ・コミュニティ・スクールの推進
 - 全校実施 24,750千円
 - 「地域総がかり」で子どもの成長を支える体制づくり

**視点
5**

市民に信頼される, 魅力ある教育関係職員の育成に努めます。

- ・部活動指導員 (R3: 14人→R4: 16人) 13,943千円
- ・教員業務支援員 105,268千円
 - R3当初: 大規模校39校へ配置
 - R3補正後: 小, 中, 中等, 特支165校全校配置
 - R4: 15学級以上の学校80校へ配置

学校給食の見直し

- (課題)
 - ・公会計化の導入を検討 (令和7年度目途)
 - ・業務, 組織体制の整備 など

部活動の地域移行

- R3: モデル実施
- R4~: モデルの効果検証

用務員の委託化

- R4: 小中各1校でモデル実施
- 効果を検証

本市における特別支援教育の一層の充実に向けて ～子ども一人一人のニーズと課題に対応した特別支援教育の推進～

特別支援教育を取り巻く状況の変化

○関連する法令の改正等

- ・H19 障がい者の権利に関する条約の署名
→インクルーシブ教育システムを規定
- ・H28 障がい者差別解消法の施行
→合理的配慮が法的に義務化 →本市で条例化
- ・R3 医療的ケア児及びその家族に対する支援に関する法律の施行
→地方自治体の責務を規定

○学習指導要領の改訂(H29)

- ・インクルーシブ教育システムの推進による学びの連続性の重視

○GIGAスクール構想(R2)

- ・1人1台端末と通信ネットワークの一体的な整備

本市における状況や課題

○特別支援学級・学校等の児童生徒の増加

区分	平成23年度	令和3年度	10年間の増加率
小学校	686人	1,598人	2.3倍
中学校	302人	625人	2.1倍
特別支援学校	203人	303人	1.5倍
医療的ケア児	2人	8人	4.0倍

※障がい者手帳等の保有者数の増加率は10年で1.1倍

○本市が抱える主な課題

- ・特別支援学校への教職員の配置困難への対応、施設の狭隘化
- ・支援員配置の考え方の整理
- ・医療的ケア児への支援体制
- ・担当者の人材育成
- ・GIGAスクールへの対応

○新潟市教育ビジョン 第4期実施計画(R2～R6)

- 【基本施策】 共生社会の実現を目指すインクルーシブ教育システムの推進
- 【主な事業】 合理的配慮の提供 特別支援教育サポートネットワーク
早期からの就学支援推進 支援員の配置

高まり続ける特別支援教育への社会的ニーズや課題に的確に対応することが求められている。

特別支援教育の一層の充実

○インクルーシブ教育システムの推進

- ・障がい者が自由に社会参加することを可能とするため、障がいのある者となない者が共に学ぶ仕組みを推進

○医療的ケア児への支援

- ・在籍する学校等への支援、支援を行う人材の確保、相談体制の整備等

○デジタルを活用した教育の推進

- ・1人1台端末を活用した個別最適な学びを実現

○教員の専門性の向上

- ・障がいの多様化への対応

○支援員の配置[R4拡充] ●億円(+●億円)

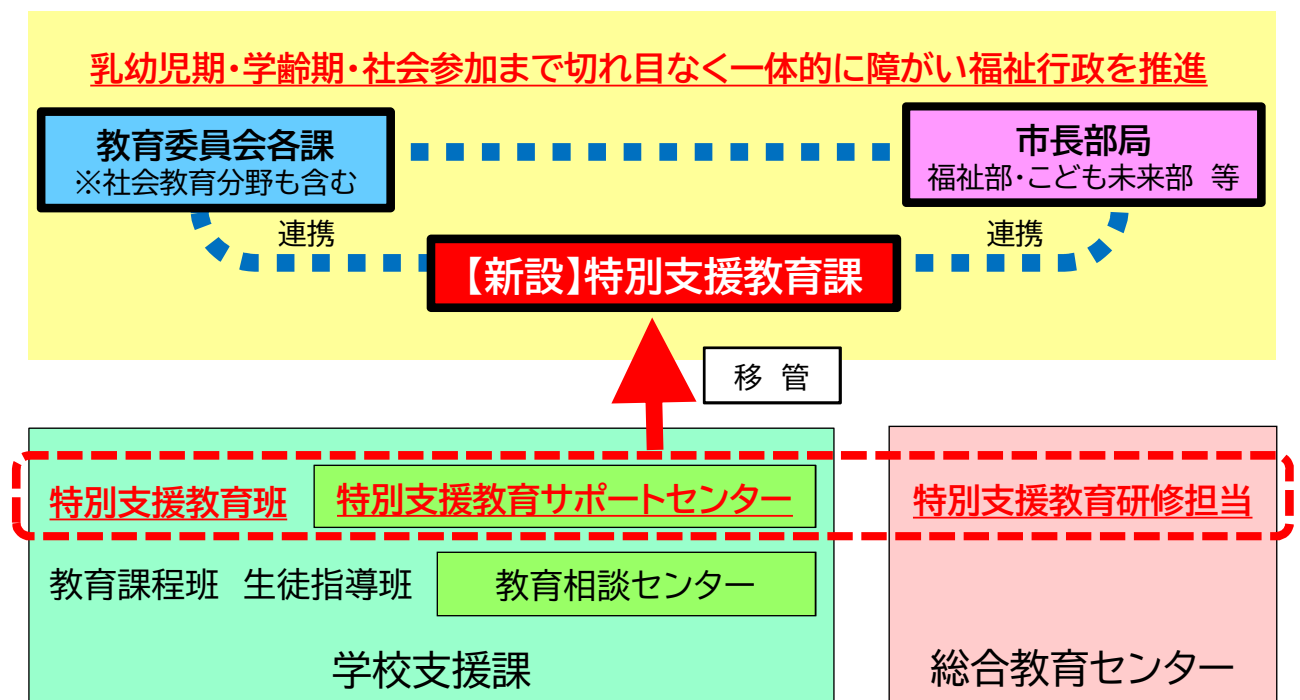
- ・学校職場や支援員の意見を踏まえた制度設計

○特別支援教育の在り方に関する調査研究[R4新規] 200万円

- ・特別支援教育を推進するために必要な方策等を調査研究

特別支援教育の一層の充実のための体制の整備等

新設組織と障がい福祉行政の推進イメージ



「特別支援教育課」を新設することで、政策企画立案能力を強化するとともに一体的な事業展開を図る。また、切れ目なく支援を受けられるよう関係部門との連携を強化し、一体的な障がい福祉行政を推進する。

令和4年度当初予算事業説明書

No. 1

(一般会計)

(単位：千円)

課名 (R4年度担当課)	事業名称	事業費 (財源内訳)	事業概要
教育総務課	・教育ビジョンの適正な推進	(特定) 721	教育ビジョン第4期実施計画に盛り込まれた施策の着実な実行を図るため、適切な事業の進捗状況評価を実施して、教育ビジョンの進行管理を行う。 ○外部委員会運営 「新潟市教育ビジョン推進委員会」 ・市民、有識者等10人以内 ・年2回程度開催
		(一般) 721	
【R3】 971			
(特定) 971 (一般)			
教育総務課	・【拡充】 コミュニティ・スクール推進事業	(特定) 24,750	市立小中学校、中等教育学校、特別支援学校に「学校運営協議会」を設置し、保護者や地域住民等が一定の責任と権限の下、学校運営に参画する。学校、保護者、地域が共通の目標をもち、互いの責任と役割を明らかにし、よりよい教育の実現に向けて連携・協働することにより、「地域とともにある学校」づくりを進める。 (導入スケジュール) 令和2年度モデル実施校12校 令和3年度モデル実施校22校(新規10校) 令和4年度全校実施予定
		(一般) 24,750	
		【R3】 3,300	
		(特定) 176 (一般) 3,124	

令和4年度当初予算事業説明書

No. 2

(一般会計)

(単位：千円)

課名 (R4年度担当課)	事業名称	事業費 (財源内訳)	事業概要	
学務課 保健給食課	・就学援助事業	951,536	経済的に就学困難な児童生徒の保護者に対し、学用品費、給食費等小中学校での就学に必要な経費の一部を助成する。	
		(特定) 4,832		
		(一般) 946,704		
	【R3】	938,043		
	(特定) 5,933			
	(一般) 932,110			
・避難者就学援助事業	11,202	東日本大震災により本市に避難し小中学校に通う、経済的に就学困難な児童生徒の保護者に対し、就学に必要な経費の一部を助成する。		
	(特定) 11,109			
	(一般) 93			
	【R3】		15,274	
(特定) 15,102				
(一般) 172				
学務課	・特別支援教育就学奨励費	78,858	小中学校の特別支援学級及び特別支援学校に就学する児童生徒の保護者に対し、学用品費、給食費、通級費等就学に必要な経費の一部を助成する。	
		(特定) 29,160		
		(一般) 49,698		
		【R3】		71,352
		(特定) 24,769		
(一般) 46,583				

令和4年度当初予算事業説明書

No. 3

(一般会計)

(単位：千円)

課名 (R4年度担当課)	事業名称	事業費 (財源内訳)	事業概要
学務課	・奨学金貸付事業	89,893 (特定) 105,674 (一般) △ 15,781	○高等学校から大学院までを対象とした奨学金制度 ・無利子貸付 ・対象校種：高等学校等，専門学校，短期大学，大学，大学院（海外の大学，大学院含む） ・返還にあたって，返還特別免除制度あり（高等学校等除く） ○社会人を対象とした奨学金制度 ・無利子貸付 ・対象校種：専門学校，短期大学，大学，大学院 ・対象者：満23歳以上で満50歳までに修学期間が終了する者 （令和3年度から新規募集停止）
		【R3】 92,403 (特定) 100,413 (一般) △ 8,010	

令和4年度当初予算事業説明書

No. 4

(一般会計)

(単位：千円)

課名 (R4年度担当課)	事業名称	事業費 (財源内訳)	事業概要
学務課	・入学準備金貸付事業	4,135 (特定) 4,770 (一般) △ 635	<p>経済的理由により高等学校等への入学時の費用の負担が困難な者を支援するため、必要な学資（入学準備金）を貸付ける。</p> <p>・無利子貸付 ・対象者：高等学校等，高等専門学校，専修学校高等課程に進学を希望する生徒の保護者で，新潟市に住所を有し，市が定める所得基準以下の者</p>
		【R3】 (特定) 5,039 (一般) 4,290 749	
学務課 学校支援課	・学校ICT環境整備	702,935 (特定) (一般) 702,935	<p>○教育用コンピュータ事業 189,781千円 学習で使用するコンピュータ等のICT機器等の整備を行う。 (R4.4.1現在) 668台 [内訳] ・デスクトップPC 468台 ・タブレットPC 200台 ・プロジェクタ，教材提示装置等</p> <p>○図書システム事業 94,226千円 主に図書館システムで利用するデスクトップコンピュータの整備を行う。 (R4.4.1現在) 560台 [内訳] ・デスクトップPC 557台 (図書室) ・タブレットPC 3台 (普通教室)</p> <p>○教職員用コンピュータ事業 418,928千円 教職員が校務で使用するコンピュータの整備を行う。</p>
		【R3】 (特定) 324,970 (一般) 324,970	

令和4年度当初予算事業説明書

No. 5

(一般会計)

(単位：千円)

課名 (R4年度担当課)	事業名称	事業費 (財源内訳)	事業概要
学務課 学校支援課	・教育ネットワーク事業	(特定) 142,075	「教育ネットワーク基盤」と、「統合型校務支援システム」の運用に要する経費。 ・役務費 24,816千円(回線利用料) ・使用料および賃借料 89,759千円(機器等賃借、DC利用料) ・委託料 27,500千円(運用保守)
		(一般) 142,075	
		【R3】 (特定) 142,084	
		(一般) 142,084	
学務課	学習用端末整備事業	(特定) 339,964	「GIGAスクール構想の実現」に向け整備した、小・中・特別支援学校の児童生徒1人1台端末の機器等賃借料。 ・整備台数61,415台(R4.4.1現在)
		(一般) 339,964	
		【R3】 (特定) 333,962	
		(一般) 333,962	

令和4年度当初予算事業説明書

No. 6

(一般会計)

(単位：千円)

課名 (R4年度担当課)	事業名称	事業費 (財源内訳)	事業概要
施設課	・学校改築事業	5,400 (特定) 5,018 (一般) 382 【R3】 2,400 (特定) 1,000 (一般) 1,400	○鳥屋野小学校整備事業 宅地開発による児童の増加に伴う、教室不足が見込まれることから、校舎増築に向けて準備工事を行う。 [今後の予定] (R4年度) ・準備工事(エレベーター改修) (R5年度) ・校舎増築工事 (R6年度) ・供用開始
	・大規模改造事業	【R4当初+R3.12月補正】 2,105,976 (特定) 2,093,900 (一般) 12,076 【R3.2月補正】 2,642,300 (特定) 2,642,300 (一般)	(工事) ・小学校 5校 ・中学校 2校 ・特別支援学校 1校 (実施設計) ・小学校 3校 ・中学校 1校

令和4年度当初予算事業説明書

No. 7

(一般会計)

(単位：千円)

課名 (R4年度担当課)	事業名称	事業費 (財源内訳)	事業概要
施設課	・学校施設エコスクール 化推進事業	【R4当初+R3.12月補正】 337,500 (特定) 275,600 (一般) 61,900	○トイレ全面改修 (工事) ・小学校 3校 ・中学校 3校 (実施設計) ・小学校 1校 ・中学校 2校
		【R3.2月補正】 139,500 (特定) 139,500 (一般)	
	・既存空調設備更新事業	【R4当初+R3.12月補正】 337,149 (特定) 330,000 (一般) 7,149	(工事) ・小学校 1校 ・中学校 2校 (設計) ・小学校 7校 ・中学校 3校
		【R3】 6,500 (特定) (一般) 6,500	
	緊急修繕事業	50,000 (特定) 37,500 (一般) 12,500	(工事) ・小学校 1校
		【R2.12月+R3.2月補正】 99,300 (特定) 82,300 (一般) 17,000	

令和4年度当初予算事業説明書

No. 8

(一般会計)

(単位：千円)

課名 (R4年度担当課)	事業名称	事業費 (財源内訳)	事業概要	
地域教育推進課	・地域と学校パートナーシップ事業	128,711	「学・社・民の融合」による教育を推進するため、各学校に地域教育コーディネーターを配置し、学校教育活動の充実を図るとともに、地域活動を結ぶネットワークづくりを推進する。 実施校 167校 ・小学校 106校 ・中学校 56校 ・中等教育学校 1校 ・特別支援学校 2校 ・高等学校 2校	
		(特定) 42,903 (一般) 85,808		
	【R3】	135,828		
	(特定) 45,276 (一般) 90,552			
	・子どもふれあいスクール事業	28,773		子どもの健全育成と地域の教育力向上を図るため、小学校の余裕教室や体育館を活用し、平日の放課後や土曜日の午前中などに子どもたちに安心・安全な居場所を提供するとともに、異年齢交流や地域の大人との交流を図る。 ・実施校 小学校68校
		(特定) 8,921 (一般) 19,852		
【R3】	28,763			
(特定) 8,918 (一般) 19,845				
・学校開放事業	27,166	市民の体育活動・文化活動・地域活動の普及推進と幼児・児童・生徒の健全な育成を図るため、教育に支障のない範囲で学校施設の体育館、武道場、教室等を開放する。 実施校 164校 ・小学校 106校 ・中学校 56校 ・特別支援学校 1校 ・高等学校 1校		
	(特定) 12,160 (一般) 15,006			
【R3】	28,433			
(特定) 12,158 (一般) 16,275				

令和4年度当初予算事業説明書

No. 9

(一般会計)

(単位：千円)

課名 (R4年度担当課)	事業名称	事業費 (財源内訳)	事業概要	
地域教育推進課	・街頭育成活動	(特定) 2,031	青少年の健全育成と非行の未然防止を図るため、青少年育成員による繁華街などの巡回や青少年への声かけ活動を実施する。 ・青少年育成員 31人	
		(一般) 2,031		
		【R3】 1,934		
		(特定) 1,934		
	(一般) 1,934			
	・若者支援事業	(特定) 5,616		若者支援センターにおいて、相談業務や若者の自立、社会参加を支援する事業を行うほか、ユースアドバイザーを配置し、居場所での若者の見守りを行う。 ○相談業務 ○若者支援事業 ○居場所の運営 ○若者支援協議会の運営 ・ユースアドバイザー 27人
		(一般) 5,616		
		【R3】 5,691		
		(特定) 5,691		
	(一般) 5,691			
	・「成人の日」のつどい 開催	(特定) 300	新成人の新しい門出を祝福し、社会人としての自覚と誇りを持つ機会として、成人式を開催する。 R3年度成人式開催概要 ・R5年1月8日(日) ・朱鷺メッセ 展示ホール ・H14年4月2日からH15年4月1日に生まれ、本市に住民登録のある方 約7,000人 ※R4年度の成年年齢引き下げ後も、20歳を対象に式典を開催。	
		(一般) 7,330		
【R3】 7,619				
(特定) 200				
(一般) 7,419				

令和4年度当初予算事業説明書

No. 10

(一般会計)

(単位：千円)

課名 (R4年度担当課)	事業名称	事業費 (財源内訳)	事業概要
地域教育推進課	・芸術創造村・国際青少年センター管理運営費	53,367	文化芸術活動の支援，青少年の体験活動及び国際交流活動の支援を行い，文化芸術活動を行う者，青少年及び市民相互の交流を推進するため，芸術創造村・国際青少年センターを管理運営する。 指定管理者： 環境をサポートする株式会社きらめき（指定管理期間：R3年度～R7年度） これまでの利用状況等から清掃の頻度や管理体制を見直すことで指定管理料を削減する。 また，利用対象者の拡大や認知度向上に努め使用料収入の増を図る。
		(特定) 4,200	
(一般) 49,167			
【R3】			
		53,367	
		(特定) 4,168	
		(一般) 49,199	

令和4年度当初予算事業説明書

No. 11

(一般会計)

(単位：千円)

課名 (R4年度担当課)	事業名称	事業費 (財源内訳)	事業概要	
保健給食課	・学校医の配置・各種健康診断事業	(特定) 188,203	市立学校・幼稚園の児童生徒・幼児の健康を保持するため、学校医を配置し各種健康診断を行う。 ○学校医の配置 [内科校医・専門校医(耳鼻科・眼科)・歯科校医] 小学校106校・中学校56校・中等教育学校1校・高等学校2校・特別支援学校2校・幼稚園8園に1人ずつ配置 [精神科校医] 特別支援学校2校に1人ずつ配置 ○各種健康診断 学校保健安全法に基づく定期及び就学時の健康診断 [定期健康診断] 1 内科健診 2 眼科健診 3 耳鼻科健診 4 歯科健診 5 尿検査 6 結核検診 7 腎臓病検診 8 心臓検診 9 糖尿病検診 10 運動器検診 (幼児は、6から9を除く) [就学時健康診断] 内科, 歯科, 聴力, 視力等	
		(一般) 188,203		
	【R3】	(特定) 174,432		
	(一般) 174,432			
	・児童生徒の生活習慣病予防対策事業	(特定) 7,656		児童生徒自身が体の状態を客観的に知り、より健全な生活習慣を身につけるため、啓発活動を行うとともに、小4と中1の希望者に対して健診(血液検査, 血圧・脈拍測定, 身長・体重・腹囲測定)を実施する。
		(一般) 7,656		
【R3】				
	(特定) 7,831			
	(一般) 7,831			

令和4年度当初予算事業説明書

No. 12

(一般会計)

(単位：千円)

課名 (R4年度担当課)	事業名称	事業費 (財源内訳)	事業概要
保健給食課	・食物アレルギー対策事業	(特定) 77	アレルギー疾患に対する健康管理及び緊急時の対応について研修会を開催する。
		(一般) 77	
		【R3】 77	
		(特定) 77 (一般) 77	
	・食育推進事業	(特定) 322	スクールランチ実施校に栄養士資格を有する指導者を派遣し、食の指導を行う。 また、食育の研究推進校を指定し、学校における食育を推進する。 ○推進校 桜が丘小, 山潟中, 小須戸小, 小須戸中 ○食育ミニフォーラム 亀田中学校校区
		(一般) 322	
		【R3】 387	
		(特定) 387 (一般) 387	
	・学校給食管理費(調理委託)	(特定) 366,453	市立小学校の調理業務を民間委託することにより、効率的な運営を図り、安心安全な学校給食の提供を行う。
		(一般) 366,453	
		【R3】 331,633	
		(特定) 331,633 (一般) 331,633	

令和4年度当初予算事業説明書

No. 13

(一般会計)

(単位：千円)

課名 (R4年度担当課)	事業名称	事業費 (財源内訳)	事業概要	
学校人事課	・多忙化解消対策推進事業	(特定) 67	「第3次多忙化解消行動計画」に基づき、専科教員の配置による小学校高学年における教科担任制の推進や、校務支援システム運用の効率化を図ることなどにより、教員の多忙化解消を推進する。	
		(一般) 67		
		【R3】 130		
		(特定) 130		
	【拡充】 ・教員業務支援員配置事業	(特定) 105,268		国の教員業務支援員配置事業を活用し、小・中・特別支援学校に教員業務支援員を配置することで、教員の負担を軽減し、本来業務に専念できるようにするための人的環境整備を図る。 R3当初：39校 R3補正後：165校（全校） R4当初：80校
		(一般) 34,271		
		(一般) 70,997		
		【R3】 51,705		
(特定) 16,707				
(一般) 34,998				

令和4年度当初予算事業説明書

No. 14

(一般会計)

(単位：千円)

課名 (R4年度担当課)	事業名称	事業費 (財源内訳)	事業概要
総合教育センター	・マイスター養成塾等教育関係職員研修	(特定) 6,317	教職員のキャリアに応じた研修, 並びに学校現場のニーズに沿った研修を実施し, 「組織マネジメント力」, 「授業力・実践力」, および「人間力」の向上を図り, 「市民感覚に富んだ教職員」の育成を目指す。 ・キャリアステージに関わる研修 (マイスター養成塾等) ・教職員の専門性向上に関わる研修 (授業づくり研修等)
		(一般) 6,317	
		【R3】(特定) 6,765	
		(一般) 6,765	

令和4年度当初予算事業説明書

No. 15

(一般会計)

(単位：千円)

課名 (R4年度担当課)	事業名称	事業費 (財源内訳)	事業概要
学校支援課	・アフタースクール学習支援事業	6,017	市立中学校において、放課後の時間を活用した学習支援の環境を整備し、生徒への学習支援を展開することで、学力の一層の伸長を図り、主体的に学ぶ意欲・態度を育成する。
		(特定) 2,005	
		(一般) 4,012	
		【R3】	
		(特定) 6,094	
		(一般) 2,031	
	・学力向上対策事業	10,505	子どもの学力実態を的確に把握し、個に応じたきめ細かな指導・支援を行う。
		(特定) 1,600	
		(一般) 8,905	
		【R3】	
		(特定) 10,505	
		(一般) 1,600	
・カウンセラー等活用事業	50,358	専門的な知識と経験を有するスクールカウンセラー等を学校へ派遣し、いじめ・非行等問題行動や不登校の解消を図る。	
	(特定) 16,620		
	(一般) 33,738		
	【R3】		
	(特定) 52,344		
	(一般) 17,282		
	35,062	・スクールソーシャルワーカーの学校派遣	

令和4年度当初予算事業説明書

No. 16

(一般会計)

(単位：千円)

課名 (R4年度担当課)	事業名称	事業費 (財源内訳)	事業概要
学校支援課	・情報通信技術支援員配置事業	(特定) 95,000	市立小学校，中学校，中等教育学校，高等学校，特別支援学校において，情報通信技術支援員（ICT支援員）を配置し，各校の要望を聞きながら，授業計画の作成支援，年度更新を含む管理運用支援，授業におけるICT機器の準備・操作支援，研修支援等，日常の授業における「1人1台端末」等のICT機器を有効に活用した授業づくりを支援する。 ・4校に1名配置
		(一般) 95,000	
		【R3】	
		(特定) 96,000	
	(一般) 96,000		
	【新規】 ・GIGAスクール運営支援センター整備事業	(特定) 40,000	
(一般) 40,000			
		【R3】	
		(特定)	
		(一般)	

令和4年度当初予算事業説明書

No. 17

(一般会計)

(単位：千円)

課名 (R4年度担当課)	事業名称	事業費 (財源内訳)	事業概要	
学校支援課	【拡充】 ・部活動の支援	18,785	教員の負担を軽減し中学校における部活動指導體制の充実を促進するための支援を行うとともに、部活動の質的向上を図る。 ・部活動指導員配置事業 中学校配置14人→16人 ・部活動エキスパート・サポーター活用事業 ・地域部活動推進事業	
		(特定) 6,322		
		(一般) 12,463		
	【R3】	16,935		
		(特定) 5,706		
		(一般) 11,229		
	・外国語指導助手配置事業	13,936		国際理解教育を推進する学習の一環として、各校に外国語指導助手(ALT)を配置し、外国語教育に積極的に取り組む学校を支援する。 1人1台の端末やデジタル教科書を有効に活用し、より効果的な配置を行う。 ・ALT 36人→32人 ・派遣委託ではなくJETプログラムを優先的に活用
		(特定) 4,546		
		(一般) 9,390		
【R3】	41,098			
	(特定) 2,153			
	(一般) 38,945			
・国際交流推進事業	2,500	姉妹都市(ロシア ハバロフスク市, ビロビジャン市), 友好都市(中国 ハルビン市), 交流協定都市(韓国 ウルサン広域市)の青少年と相互交流(派遣, 受入)を行う。派遣では, ホームステイや学校訪問などでコミュニケーションを図る。受入では, 学校訪問や国際子どもフォーラムを通して交流を図るとともに本市の魅力を伝える。 ・個別交流ではなく3か国合同交流とすることで交流回数を集約 ・学校単位でオンラインを活用することで事業の効果を受ける児童生徒の範囲を拡大		
	(特定)			
	(一般) 2,500			
【R3】				
	(特定)			
	(一般)			

令和4年度当初予算事業説明書

No. 18

(一般会計)

(単位：千円)

課名 (R4年度担当課)	事業名称	事業費 (財源内訳)	事業概要
学校支援課	【拡充】 ・特別支援教育の充実	(特定) 618,468	小・中学校の特別支援学級及び通常学級に特別支援教育支援員を配置し、障がいのある児童生徒の学校生活を支援する。 ・支援員配置時間を原則5.5時間/日から6.0時間/日と底上げすることで支援体制を強化
		(一般) 7,160	
	(R3)	(特定) 607,213	
	(一般) 611,308	(一般) 8,280	
	(R3)	(特定) 598,933	
	(一般) 598,933		
【新規】 ・特別支援教育の在り方に関する調査研究	(特定) 3,000	(一般) 3,000	特別支援学級、特別支援学校の在籍者数が本市においても直近10年間で倍増しているほか、法改正に伴い医療的ケアをはじめとする特別な支援を必要とする児童生徒への対応が喫緊の課題となっていることから、今後の特別支援教育のあり方について調査研究を行う。 ・医療的ケア児の受入れや支援体制のあり方、看護職員への効果的な研修等の調査研究 ・就学前から社会参加まで切れ目ない支援を受けられる体制のあり方の研究（関係部署と共同実施） など
	(特定)		
	(一般)		
・スクールガードリーダー配置事業	(特定) 2,003	(一般) 667	警察官OBを各区に配置し、子ども見守り隊等と連携しながら、児童生徒の安全安心な登下校を確保する。
	(特定) 1,336		
	(一般) 2,108		
(R3)	(特定) 702		
(一般) 1,406	(一般) 1,406		

令和4年度当初予算事業説明書

No. 19

(一般会計)

(単位：千円)

課名 (R4年度担当課)	事業名称	事業費 (財源内訳)	事業概要		
生涯学習センター	・にいがた市民大学開設事業	(特定) 5,000	時代や社会の変化並びに市民の学習ニーズ、新潟の地域性や課題等に対応した講座や「高等教育コンソーシアムにいがた」と連携した講座など計6講座のほか特別講座を開設する。 講座の一部にオンラインを活用した自宅受講を導入し、市民の生活スタイルに応じた、多様な学習環境の整備を進める。		
		(一般) 5,000			
		【R3】			
	・家庭教育支援基盤構築事業	(特定) 282		核家族化や地域社会のつながりの希薄化等を背景として、子育ての悩みや不安を抱えたまま保護者が孤立してしまうなど家庭での教育が困難な現状がある。 そこで、保護者や地域住民が家庭教育を学ぶ機会を充実させるため、家庭教育支援プログラムを作成したり、支援に関わる人材を育成したりし、学校や企業などと連携しながら、家庭の教育力向上を図る。	
		(一般) 94			
		(一般) 188			
	・生涯学習推進事業	【R3】			市民が学んだ知識や成果を教育活動や地域に生かすために、生涯学習ボランティアなどを育成するとともに、ボランティアバンク登録者の活動の場を支援する。
		(特定) 217			
		(一般) 217			
		【R3】			
		(特定) 222			
		(一般) 222			

令和4年度当初予算事業説明書

No. 20

(一般会計)

(単位：千円)

課名 (R4年度担当課)	事業名称	事業費 (財源内訳)	事業概要
中央公民館	・家庭教育振興事業	8,000 (特定) 530 (一般) 7,470 <hr/> 【R3】 (特定) 9,079 (一般) 536 (一般) 8,543	子育て期の親の「家庭教育力向上」に取り組み、将来の地域を担う子どもたちが安心して生活し、健全な大人へと成長できる家庭環境の実現を支援する。 ○家庭教育学級および子育てサロン 子育て各期の親に家庭教育学級等の学習機会を提供し、家庭教育力向上を図るほか、子育てへの不安感・負担感軽減、精神的安定を図るため、子育てサロン等の親子の居場所を開設し、情報共有や意見交換の機会を提供する。 ○子育て学習出前講座 多くの保護者が学校に集まる就学時健診等において講師を派遣し、家庭教育のあり方を考える機会を提供し、意識啓発と家庭教育力向上を図る。 ○令和4年度からの取組み～こども未来部との連携促進 効果的・効率的に家庭教育支援を行うため、保健的な面で乳幼児期の子育て支援を行っているこども未来部と、業務のすみ分けや連携等について協議を進めていく。
	・子ども体験活動・ボランティア活動推進事業	1,429 (特定) (一般) 1,429 <hr/> 【R3】 (特定) 1,429 (一般) 1,429	土日や長期休業期間に、子どもを対象とした様々な野外活動やものづくり等の体験型事業を実施し、自立心や社会性、協調性、他人に対する思いやりの心を育み、子どもたちの健全な人格形成を促進する。

令和4年度当初予算事業説明書

No. 21

(一般会計)

(単位：千円)

課名 (R4年度担当課)	事業名称	事業費 (財源内訳)	事業概要	
中央図書館	・読書普及事業	92,287	「新潟市立図書館ビジョン」に基づき、「市民の身近な学びと情報の拠点」を目指した資料収集と事業を行う。	
		(特定) 948		
		(一般) 91,339		
		【R3】		
		(特定) 99,931		・市民の多様なニーズに対応する資料収集 ・ハンディキャップサービス 障がい等により来館困難な市民に対して宅配貸出 ・その他、講演会等の開催
		(一般) 911		
	・子どもの読書環境の整備	5,598	「第三次新潟市子ども読書活動推進計画」に基づき、子どもたちが本に親しみ読書習慣を身に付けることを目指して、ボランティアや庁内関係課等と連携して事業を行う。	
		(特定)		
		(一般) 5,598		
		【R3】		
		(特定) 5,893		・ブックスタート事業 ・学校貸出図書搬送事業 ・学校図書館支援センターの運営 ・絵本の読み聞かせボランティアの養成
		(一般) 5,893		
・図書館サービス向上事業	119,233	図書館間のネットワークを活かした図書館サービスの提供を行う。		
	(特定) 5,610			
	(一般) 113,623			
	【R3】			
	(特定) 107,033		・図書館情報システムの運用 ・図書館・地区図書室へ配本車の運行 ・郷土資料デジタルアーカイブの充実 ・市民向けレファレンス（調査相談）データベースの提供 ・電子図書館システムの運用及び電子書籍の提供	
	(一般) 107,033			